

*メリークリスマス! 今年もあとわずかです。皆様にはどんな年だったでしょうか。

//// I N D E X //////////////////////////////////////

- ・ISO 解説-----カーボンフットプリント (CFP) の算定と環境ラベル
- ・LCAF からお知らせ…「LCA 初級研修」を12月12日(月)・13日(火)に行いました。
「LCAF : LCA 初級検定」を来年(2023年)2月4日(土)に予定しています。
- ・編集後記-----クリスマスからお正月

■■ ISO 解説 : カーボンフットプリント (CFP) の算定と環境ラベル ■■

毎回「ISO 情報」として、ISO の新しい情報をお伝えしてきましたが、今回は「ISO 解説」です。というのも、LCAF の研修や公的な検討会などで皆さんとカーボンフットプリント (CFP) について議論していると、算定方法の ISO とコミュニケーション (環境ラベル) の ISO が一緒にされていると感じることが多いからです。

ISO では算定とコミュニケーションの区別は明快です。それは、TC207 の下の分科会 (SC: サブコミッテイ) が異なるからです。LCA の国際標準規格 ISO14040 : 2006 と ISO14044:2006 は TC207/SC5 で発行されています。この SC は、ISO14045:2012 (環境効率) や ISO14046:2014 (ウォーターフットプリント) も発行しています。これらはいずれも、算定方法を示す ISO です。

一方、コミュニケーションすなわち「環境ラベル」は SC3 で発行されています。ISO14020:2022 が基本で、この規格は ISO14024:2018 (タイプ I 環境ラベル)、ISO14021:2016 (タイプ II 環境ラベル)、ISO14025:2006 (タイプ III 環境ラベル) の違いを解説しています。タイプ II 環境ラベルは自己宣言ですから、ISO14021:2016 には自分でラベルを作るときの注意が書いてあります。タイプ I の環境ラベルは日本では「エコマーク」で、商品群ごとに定めた基準をクリアしていると第3者が認めたラベルです。タイプ III の環境ラベルが LCA の結果を開示するラベルです。

タイプ III のラベルは、見る人が比較をするかもしれないので、製品群ごとに共通の算定ルール (PCR) を作ることが定められ、ISO/TS14027:2017 (PCR の作り方) が発行されています。この PCR は、タイプ III の環境ラベル (マーク) を運営する第三者が作成し管理することになっています。つまり、ISO の構造では、SC5 が発行する ISO14044:2006 に従って算定した LCA の結果を、SC3 が発行する ISO14025:2006 に従って環境ラベルとして発行すると言う訳です。

カーボンフットプリント (CFP) は、CFP の独自の規則もありますが、基本は GHG だけを算定する LCA なので、ISO14067:2018 は算定方法を示すだけになっていて、CFP の環境ラベルの発行は上述した LCA の計算結果を示す ISO14025:2006 に従うという作りになっています。しかし、近年、ウォーターフットプリントも含めて、単一の環境カテゴリーの評価だけを行う「フットプリント」が多くなってきたので、ISO14026:2017 (フットプリント情報のコミュニケーション) を作りました。この ISO の基本は、タイプ III 環境ラベルの ISO14025:2006 ですから、CFP もタイプ III ラベルを運営する第三者が PCR を作って実施するということになります。

元に戻ります。最近 Scope3 のカテゴリー1で、購入製品の GHG を算定することが必要という状況が多くなっています。このとき、購入製品の「CFP が必要」と言われることになります。そうすると、PCR を作って算定するという誤解が生まれます。ここで言われる CFP は、ISO14044:2006 または ISO14067:2018 に則って算定された GHG ということですから、「環境ラベル」の ISO14025:2006 のように PCR を必要としません。つまり、PCR はタイプ III の環境ラベルとして「マーク」を付けるときだけ必要で、その運営者によって管理されているものということです。

カーボンフットプリント (CFP) という用語を、ISO14067:2018 に示された「算定方法」として使っているのか、それとも ISO14025:2006 または ISO14026:2017 に示された「環境ラベルの発行」として使っているのか、意識して使うことが必要と思います。

■■ LCAF からのお知らせ ■■

- ・「LCA 初級研修」を2022年12月12日(月)と13日(火)の午前に行いました。
- ・「LCAF : LCA 初級検定」を来年(2023年)2月4日(土)に予定しています。

LCA の知識の確認のためにご利用ください。中級検定は 3 月です。

■■ 編集後記 ■■

メリークリスマス！ 最近の音楽ネタの続きでいうと、やはり「くるみ割り人形」ですね。文学では「クリスマスキャロル」でしょうか。古い映画では「ホリデイ・イン」、ビング・クロスビーの「ホワイトクリスマス」の歌が出てくる映画です。（こんな映画は若い人は誰も知らないでしょうね。。私だってリアルタイムで見たわけではありませんから。）もう一度見たいです。DVD でているでしょうか？

今頃イタリアに行くと教会はもちろん、街角にもホテルにもキリスト生誕の場面のミニチュアが作られています。ある年のあるホテルでは、真ん中のキリストが 24 日まではいなくて 25 日の朝に置かれる演出がありました。どこもそうなのでしょうか？

クリスマスが終わると、「第九」で年越し、ウイーンフィルの「ニューイヤーコンサート」で年明けです。さて、この冬休みに、たまっている仕事がどれだけ片付くでしょうか。。。困ったものです。。

(LCAF 理事長 稲葉 敦)

ご意見,ご感想,本メールマガジンの解除のご連絡はこちらまで
lcaf-contact@lcaf.or.jp

一般社団法人 日本 LCA 推進機構

Japan Life Cycle Assessment Facilitation Centre (LCAF)

(エルカフと呼んで (読んで) ください)

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 1-36-7

アルテール池袋 608

電子メール : lcaf-contact@lcaf.or.jp

URL:<https://lcaf.or.jp/>